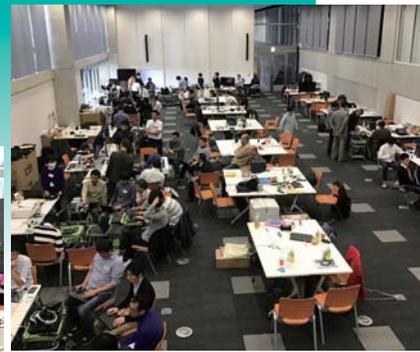


第10回

日本プラグフェスト開催報告

—プラグフェスト実行委員会—

(平成28年12月1日・2日)



会場風景▶

第10回日本プラグフェストを開催いたしましたので報告いたします。

日本プラグフェストは、インターフェース規格を使用するメーカー同士が、相互運用性を検証するための技術イベントです。今回は、4Kの高画質の映像にHDR (High Dynamic Range) 技術を搭載した最新鋭の機器を持参したメーカーが数多く参加しました。

また、今回の日本プラグフェストは、JASAが主催となってから10回目の開催となる節目のタイミングで、HDMI Licensing, LLCよりPresidentのRob Tobias氏が基調講演として登壇。HDMIの最新スペックの紹介や新技術であるUSB-TypeC on HDMIのデモを実施して頂きました。各参加者が、真剣に耳を傾けながらメモを取り、デモを見学する姿がとても印象的でした。今後も、日本プラグフェストは接続検証の場を提供するだけでなく、参加者に対して有益な情報が提供出来るイベントとしても幅広く認知されるよう引き続き開催をしてまいります。

■会期・場所

会期:平成28年12月1日(木)~2日(金)

場所:地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 東京イノベーションハブ

主催:一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)

■目的・特徴

同一インターフェース規格(HDMI)を持つ製品間の相互運用性を検証し、確実なものとする事で、不具合解消や品質の向上を目的としています。参加メーカーは、ソース機器1, シンク機器2, リピータ機器3に

分かれ、自社製品と他社製品との接続を行い、通信・映像・音声・暗号化検証において規格に準拠した通りの挙動となっているか、安定的な接続がなされているか等、細かく検証します。また日本プラグフェスト独自の試験項目を策定し実施することで、参加メーカー全体の品質向上を促しています。

■参加メーカー・機種

- ・参加メーカー/24チーム:63名
- ・参加機種/シンク機器:10機種(TV、プロジェクタ等)、ソース機器:14機種(BDレコーダゲーム機、デジタルカメラ等)、リピータ機器/8機種(AVアンプ、AVレシーバ等)、測定器:2チーム(プロトコルアナライザ、ジェネレータ)、ケーブル:5機種(ケーブル)

■試験方法

個別試験

- ・各チーム1対1の試験
- ・1スロット60分

システム試験

- ・ソース・リピータ・ソース・ケーブルの複数チームと接続する試験
- ・日本プラグフェスト独自の試験を用い、一般家庭での複雑な機器の組み合わせ

を再現

- ・2スロット120分

■参加者からのご意見・ご要望

●多くのHDMI関連のメーカーが集まって接続テストする機会はあまりないので、非常に助かります。これからもよろしくお願いたします。

以上のような声をはじめ、多数の貴重なご意見をいただきました。お寄せいただいた、試験方法、場所、試験時間等に関するご要望につきましては、今後も可能な限り対応します。

■第11回開催

◎日時:2017年5月11日・12日

◎場所:京都

◎テスト規格:HDMI

◎参加資格:HDMI搭載機器メーカーおよび、ケーブルメーカー

◎参加料金:1名 21,600円(税込)

日本プラグフェストHP

<http://www.jasa.or.jp/TOP/plugfest/top>

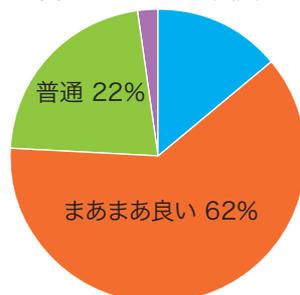
(1)デジタルコンテンツを出力する機器(BDレコーダ、デジタルカメラ等)

(2)デジタルコンテンツを受信し表示する機器(TV、プロジェクタ等)

(3)ソース機器とシンク機器間で、信号の再送信等を行う中継機(AVアンプ等)

システム試験のテスト項目はいかがでしたか？

やや不便 2% 大変良い 14%



テスト時間は適切でしたか？

短い 17%

